

◆授業設計のポイント◆

- ・ 生徒一人一人の実態に応じた、実践的・体験的な学習内容の工夫
- ・ 将来を見据え自己を理解し、学び合いを重視した学習指導の工夫

生活単元学習指導案

学 級 生活単元グループ(男子1名・女子1名 計2名)
場 所 総合学級2組教室(3年校舎1階)
授業者 教 諭 新 町 義 樹

1 単 元 合同宿泊学習の準備をしよう(名刺交換をしよう)

2 単元について

(1) 単元設定の理由

伊敷地区合同宿泊学習は、地区内の小・中学校特別支援学級の友達や教師との様々な交流活動を通して、集団の一員としての自覚をもち、自分の役割を果たすことができるようにすることを目的として毎年6月に実施している。また、宿泊活動の中で、入浴や寝具の取扱いなどの身近処理をする活動を通して、日常生活における基本的な生活習慣の育成、向上を図ることができるようにすることも合わせて目的としている。本校の生徒も、毎年参加し、地区内の生徒や教師と楽しく交流できるので、1年間で最も楽しみにしている行事の一つであり、興味関心を持って取り組める単元なので学習効果が期待できる。また、宿泊学習で行う学習内容には、社会的自立のために必要な要素が数多く含まれている。生徒の実態を十分把握し、現時点での課題を見付け、宿泊学習の準備段階から計画的に学習することで、社会的自立に向けての様々なスキルが身に付くと考えられる。

さて、本グループは3年生2名で構成されている。日常生活における基本的な生活習慣は十分身につけており、これまでの合同宿泊学習でも、着替え、入浴、寝具の取扱いなど、支援を必要とせず、一人できちんと行うことができる。しかし、他校生との交流という視点からみると、事前に準備した名刺を使って交換まではできるが、それが終わるとほとんどの時間を本校の生徒同士で過ごすことが多く、十分交流できていない現状がある。特に、同年齢である中学生とは、ほとんど交流することなく過ごしている。

このような実態を踏まえて、本単元「合同宿泊学習の準備をしよう」を設定した。本単元では、2日間の活動を通して、自分の力で入浴や就寝など日常生活の中で必要な知識や技能を身に付け、生徒一人一人のできることを増やすことで、自信をもち、達成感を味わうことができるようにする。また、自分一人の力では困難なことも、友達と助け合い、協力し合って解決していくことで友達と協力することのよさや集団としての自分の役割を自覚することができるようにする。そのために、事前学習では、これまでの経験や写真を基に生徒が思考する時間を確保することで、活動に対する見通しをもち、必要な準備物や気を付けることなどについて気付くことができるようにする。また、2年時の職場体験学習の事前学習等で学習した挨拶のやり方なども生かして、他校の生徒ともよりよい人間関係が築けるようにしていきたい。

このような学習を繰り返すことで、生徒たちは、円滑で豊かな人間関係を形成する力を身に付け、将来生きていく上での社会生活をイメージしながら活動できるようになると考える。そして、その後、今の自分を振り返り、改善すべき点などを考え、自己理解やこれからの進路学習へ意欲を図るような学習を展開させたい。

(2) 生徒の実態

観点 生徒	合同宿泊学習への 興味・関心	合同宿泊学習に関する知識・技能		活動への意欲・態度
		挨拶コミュニケーション	見通し, 指示待ち面	活動への主体性 仲間意識, 役割
A 3年 男	小学校時代から参加しており, 宿泊学習に大変興味・関心をもっている。昨年は, 1年生をリードするなど, リーダー的な存在でもある。	どんな相手にも笑顔で自分から挨拶することができる。また, いろいろな話を笑顔で会話することができる。	事前学習を繰り返すことで活動の流れを把握し見通しをもつことができる。忘れることがあるので, 時折指示を与えて活動するようにする必要がある。	どんな活動に対しても, 意欲的に取り組むことができる。自分のできる範囲で, 友だちのことを考えて行動することができる。
B 3年 女	中学校から合同宿泊学習に参加している。1年時は, 行く前に不安も見られたが, 楽しく活動できたようで, 興味・関心は高い。	どんな相手にもきちんと挨拶をすることができる。自分から関わろうとすることはあまりないが, 話しかけられたことへの応答はすることができる。	しおりなどを見て, 自分なりに見通しをもつことができる。指示を待たずに, 自分から行動することも多い。	興味がある活動には意欲的であるが, そうでないものは, やや消極的である。与えられた役割はしっかりやり遂げることができる。

3 単元の目標

(1) 全体目標

- ア 合同宿泊学習に参加することで, 集団の一員としての自覚をもち, 自分の役割を果たすことができる。
- イ 合同宿泊学習でのレクリエーション等を通して, 友達や先生, 他校生との交流を広げることができる。

(2) 個人目標

	個別の指導計画の目標	個人目標
A (3年, 男)	人とのやりとりを楽しく感じながら, 見通しを持って体験的に学習することができる。	ア 学習計画表を参考にして, 合同宿泊学習当日までの学習に見通しをもち, 意欲的に落ち着いて活動することができる。 イ 教師の手本や動画などを参考にして, 模擬的な体験学習を繰り返すことで, 他校生との交流を広げることができる。
B (3年, 女)	活動の目的と自分の役割を理解し, 責任をもって活動することができる。	ア 学習計画表を参考にして, 合同宿泊学習当日までの学習に見通しをもち, 自分の考えを出しながら意欲的に活動することができる。 イ 教師の手本や動画などを参考にして, 他校生との交流を広げることができる。

4 単元の指導計画 (全25時間)

次	主な学習活動・内容	教科等の関連	時間	資料・準備
1	1 伊敷地区合同宿泊学習について知る (1) 昨年度の様子を写真や動画で振り返り, 宿泊学習を思い出す。 (2) 宿泊学習の期日, 場所等を知る。 (3) 参加者について知る。(どこの学校が参加するのか)		1	昨年度のしおり 昨年の写真, 動画 日程表 パソコン
	2 宿泊学習の計画を確認する。 (1) 鹿児島県青少年研修センターについて調べ, 館内のことを知る。 (2) 当日の活動内容を知る。 (3) 写真や動画で, 活動の様子を確認する。	算数 数学	2	行事計画プリント 時計, 地図 昨年度のしおり
	3 宿泊学習の準備計画を作る。 (1) 昨年度のしおりを参考にし, 準備計画を立てる。 (3) しおりを作る。		1	昨年度のしおり 準備計画プリント
2	4 学校紹介文等の作成と練習をする。 (1) 学校紹介で言うことを考え, 練習をする。	国語	2	しおり 自己紹介用プリント
	5 名刺, ネーム, 宿泊棟部屋掛札を作る。 (1) 名刺, 及びネームや宿泊棟部屋掛札を作る。	職業・家庭	3 本時 (12/25)	デジタルカメラ パソコン プリンター 名刺用紙
	6 名刺交換の練習 (1) 名刺受け渡しのマナーについて知る。 (2) 名刺を使って, 友だちと挨拶をしたり, 会話をしたりする。			

次	主な学習活動・内容	教科等の関連	時間	資料・準備
	7 学習発表会（宿泊学習中のプログラムの1つ）の準備と練習 (1) 学校紹介の出し物を考える。 (2) 学校紹介の出し物を練習する。 8 出発前の最終確認をする。	国語	3	画用紙 マジック
3	9 宿泊学習		10	しおり
4	10 宿泊学習の反省をする。 (1) これまでの反省をすることができる。	国語	2	しおり, 写真

5 単元における評価規準

- ・ 友だちや先生との様々な交流活動を通して、楽しく宿泊学習に参加し、集団の一員としての自覚を持ち、自分の役割を果たすことができる。
- ・ 合同宿泊学習のさまざまな活動を通して、友達や教師、他校生との交流を広げることができる。

6 本時の実際（12/25）

(1) 目標（評価規準）

- ① 作成した名刺を使って、名刺交換の練習をすることができる。
- ② 名刺を活用して、相手とコミュニケーションを図ることができる。

(2) 授業設計の工夫

ア 生徒一人一人の実態に応じた、実践的・体験的な学習内容の工夫

研究の視点1

名刺交換の仕方については、生徒同士でできる様子を想定して教師によるモデリングをする。その二つを参考にしてリハーサルをする。その様子を、動画で撮影して、フィードバックをしながら、再度、リハーサルを行う。なお、気付いた点は、忘れないようにホワイトボードやワークシートにメモしておく。

これらの活動を繰り返し行うことで、合同宿泊学習当日の挨拶や名刺交換、及びコミュニケーションのとり方だけでなく、普段の学校生活においても生かすことができるようにする。

イ 将来を見据え自己を理解し、学び合いを重視した学習指導の工夫

研究の視点2

名刺交換は、名刺を交換することが大事なわけではなく、その交換を通じて、相手とどうコミュニケーションを図るのが大事である。わずか2日間の宿泊学習の中で、他校の児童・生徒とコミュニケーションをとったり、交流を深めたりする方法について話し合い、意見を出し合うようにする。また、課題を提起する際は、穴埋めクイズのようにして、生徒たちからの意見が出やすいように工夫をする。

(3) 本時の展開

① 個人目標 「名刺交換をしよう」（12/25）

A（3年生・男子）	・作成した名刺を、自己紹介しながら相手に渡すことができる。 ・名刺以外のことも話題にして、会話を膨らませることができる。
B（3年生・女子）	・作成した名刺を、自己紹介しながら相手に渡すことができる。 ・名刺に書かれたことを話題にして、コミュニケーションをとることができる。

② 展 開

過程 (分)	主な学習活動	指導上の留意点および生徒の活動の様子、支援の手だて ◎評価 ※ 授業設計の工夫	
		A (3年生・男子)	B (3年生・女子)
導 入 10 分	1 はじまりの挨拶をする。 2 本日の学習について知る。 3 前回の学習の振り返りをする。 4 本時の目標を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢を正して座り、話し手の目を見るように言葉掛けをする。 本時の学習を知り、学習に対して意欲をもてるようにする。 ※ 前回の学習のワークシートを確認し、今日すべきことを考える。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 名刺交換をして、相手とコミュニケーションを図る練習をしよう。 </div> 5 個別の目標を考えて書く。	<ul style="list-style-type: none"> ① 作成した名刺を使って交換する練習をすることができる。 ② 名刺を活用して、相手とコミュニケーションを図ることができる。 	
展 開 30 分	6 お互いで名刺交換をする。 7 気付いた点を、ワークシートに書き込む。	<ul style="list-style-type: none"> ※ 交換が終わった後、思いつく点をそれぞれのワークシートに書き込む。 ▪ 自分の反省を先に行い、記入後、相手の良かった点を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ◎ 自己評価の観点 (1) 名刺に書かれたことを相手に話げたか？ (2) 名刺に書かれていること以外で、話をするこができたか？ </div>	
	8 気付いた点を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の反省が深まっていないときは、言葉掛けをして思い出すようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> なかなか書き込もうとしない時は、言葉掛けをし、ヒントを与える。
		<ul style="list-style-type: none"> お互いに書いたものを見せ合い、意見をまとめる。 	
	9 ゲストティーチャーに教師(授業者)が名刺交換をする。 10 ゲストティーチャーと名刺交換をする。	<ul style="list-style-type: none"> ※ 手本を見せ、参考になる点を観察するようにする。【モデリング】 	
		<ul style="list-style-type: none"> ※ お互いに交換した際の点を生かして、ゲストティーチャーと名刺交換をする。【リハーサル】 ▪ 交換している様子を、お互いにタブレットPCで撮影する。 	
	11 動画をみんなで確認する。 12 お互いの名刺交換の様子の振り返りをし、ワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> 言葉遣いがよくない時は、言葉掛けをし、やり直しをするようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自信がもてなくて声が掛けづらそうな時は、Aと一緒に交換に行くようにする。
		<ul style="list-style-type: none"> 二人で見て気付いた点を、ホワイトボードにメモをするようにする。 ※ よくできている点に注目して、メモをするようにする。 ※ 撮影した動画を見て、よくできている点や、もう少しの点をホワイトボードに書く。 ◎ それぞれの気付いた点について、評価をする。 ※ 友だちの教えてくれた点を聞き、反省をする。【フィードバック】 	
	13 それぞれの成果を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分のしたときの感想と自分の様子を見て気付いた点を比較し、次に生かすようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のしたときの感想を話すようにし、その上で自分の様子を見て気付いた点を比較する。
		<ul style="list-style-type: none"> リハーサルをし、どこに注意をして臨んだか、感想を述べる。 ▪ 友だちの良いところを発表するようにし、自分に生かすことができるようにする。 	
	終 末 10 分	14 本日の活動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の反省を記入し、振り返る。 ※ 友達との話し合い活動を振り返り、評価をする。
15 次回の授業を確認する。		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 次回は、合同宿泊学習の最終確認について学習することをを知る。 	
16 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> 今回の反省を生かして、次回に臨むことができるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 今回の反省を生かして、次回に臨むことができるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 本時の具体的ながんばりを挙げ称賛の言葉掛けをする。 		